センター便り
絆
きずな
第179号

6月の役員改選に伴い、浅田将之が常務理事に再任、土屋健弘と中山あいが職員理事として新たに就任いたしました。心を込めて力を尽くしてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

となり人として

常務理事
浅田将之

元四丁目、西亀屋町、小松原北町南部、今年の猛暑の中、各町内行事「地蔵盆」が過ぎ、秋の学区行事に向けての準備が始まっています。それぞれの町内会の一員として今年もご一緒させていただけることに感謝しております。

さて、西陣会の職員が6、7人だった時代から15年が過ぎています。現在は年齢層も様々な約90名の個性ある職員が福祉活動に取り組んでいます。

いつの時代においても理念を基本とし、そのときどきで、今何が大切かを考え、出会った人たちのニーズに合わせた実践をしてまいりました。職員数が増え、各事業活動を展開し、活気や持続力は得られた一方、「理念の継承」の大切さ、難しさを痛感しています。

ひとりひとりの強みを活かして、関わる人たちとともに、「地域福祉」に向けた活動、運動、仕事に取り組むことで、西陣会が地域の方々に喜んでいただける、安心していただける存在であれるようにしたいと考えています。

理事就任に寄せて

京都市北部障害者地域生活支援センター「きらリンク」センター長
土屋健弘

このたび、理事の職をお引き受けすることになりました。重大な役職であり、担える自信もない中で、できることを考えたいと思っているところです。

西陣会は、以前と比較し職員数も増える中で職員間のコミュニケーションや情報共有が課題となっていたり、また社会の変遷の中で様々な事務負担が大きくなり、本来最も大切にしなければならない時間を確保することが難しくなってきていたりという課題に直面しています。

法人経営というところについては力不足を実感していますが、前述した課題に対しての方策を検討することで、よりよい支援が届けていけるよう、微力ながら力を尽くしたいと考えています。よろしくお願いいたします。

パッチワークの大きな布となって

西陣児童館館長
中山あい

手芸の技法の中に、小さな布を縫い合わせ、一枚の大きな布にしていく「パッチワーク」があります。違った布同士、捨てられてしまいそうな小さな端切れをもつなぎ合わせていくことで、布それぞれの面白さや色とりどりさが際立っていき、世界に一つしかない模様の布が生まれるのです。

私たちは、自分のことを小さな古い布っきれの様に思うことがあるかもしれません。人と比べてしまったり、とてもちっぽけで、無力に感じてしまうことが。そんな小さな器ですが、職員同士、互いを大切にし、信頼しあい、持ち味を活かしあい、つながりあってより良い働きをなしていく努力をし続けたいです。支えてくれる家族や近くの人に感謝しながら、出会った利用者の方々や関係の方々ともつながり、天上におられる関わって下さった方々の笑顔や伝えてくださった言葉も一緒に縫い込み、大きく布を広げていきたいと思います。

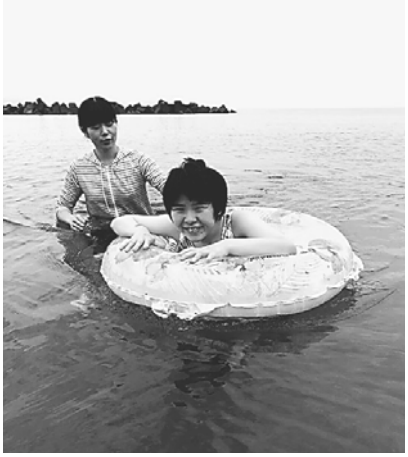
出会っていく方々をそのひとのままに、あたたかく包んでいくことができる布となれますようにと、祈りながら歩み続けていきたいと思うのです。

発行所
社会福祉法人
西陣会
HP:http://www.nishijin.org
E-Mail:nishijinkai@nishijin.org
〒602-8464
京都市上京区元誓願寺千本東入ル
TEL (075) 451 − 8971
FAX (075) 451 − 5700
発行者:南大路　文子
編集責任:浅田将之
郵便振替口座
01030-5-23086

ホームページでもご覧になれます

当法人への寄付金は、課税控除対象となりますので、その為の受領書が必要な方はお申し出下さい。

2019夏
汗と笑顔がまぶしい夏



地域生活支援ニュース

デイセンターふらっと

新しい作業

主任　五十嵐　伸治

デイセンターふらっとでは、トイレットペーパー配達を初めとして、雑巾縫い作業やコインパーキング清掃、公園清掃、名刺作成、定期的に高校の同窓会誌の封緘作業、防災グッズの箱詰め（白い小箱）など様々な作業を行い、利用者さんに工賃をお支払いさせていただいているのですが、最近また新たな作業を始めました。

まず4月から始めたのが、古い着物のほどき作業です。他事業所から紹介していただいたのですが、古い着物が着物ドレスに生まれ変わる、そのための一番初めの作業を障害のある方にしてもらいたいとのお話しで、させていただくことになりました。

それから、手芸用品の袋詰め作業も5月から始めています。こちらは元々雑巾縫い作業に使用する仕付け糸を購入するために、ネットで色々調べて、現在お世話になっている会社なのですが、最近お声を掛けていただき引き受けさせていただくことになりました。

主に紐を輪に束ねて袋に入れてバーコードの付いたシールを貼る作業をさせていただいています。

どちらもまだ始めたばかりで、多くの利用者さんにしていただける状態にはなっていないのですが、伝え方をもっと工夫すればできるようになられると思います。

最後に、10月から消費税が10％になりますが部署内で検討して、トイレットペーパーの価格は現状のままでいかせていただきますので、ご購入の方よろしくお願いいたします。

デイ新作業　ただ今ラベル貼り中!!

西陣会居宅サービス係

仲間を増やす活動

サービス提供責任者　永瀬　健太郎

居宅サービス係では、2011年度より年1回毎年8月に京都市知的・精神障害者移動支援従業者養成研修（ガイヘル研修）を開催しています（年2回開催した年もあります）。私は研修担当として関わらせて頂いて4年程になります。これまでにこのガイヘル研修がきっかけで居宅サービス係のヘルパーになられた方、現在も稼働されている方がおられますが（職員になった方もいます）、今年度も8月9日より3日間の日程で開催いたしました。原則として居宅サービス係へのヘルパー登録（当方の人材確保）を目的に開催していますので、登録された方が少ないと残念に感じることもありますが、少しでも多くの方に、障がいのある方への関わり方をお伝えすることに意味を感じていますし、受講生の方々に講義や演習を通してお伝えすることで、関わりの際に自分がどういうことに気をつけているか、どういうことを大事にしているか、私自身のそれを再確認する機会にもなっています。

話は変わりますが、京都市居宅介護等事業連絡協議会（居連協）という組織があります。文字通り、京都市内の居宅介護等事業の連絡協議会ですが、現在、130を超える事業所の加盟する組織となっており、居宅サービス係はその事務局という役割を担っており、私も事務局員という立場で関わらせて頂き、5年程になります。支援費制度の始まった2003年度の発足、2004年に設立で、今年は設立15周年になります。これまでに京都市への様々な要望や懇談等の中で京都市の制度施策に反映されてきた実績もあり、2カ月に1度のペースで定例会や研修会を開催しています。10月には、知的障がいのある方たちの一人暮らしの実情に迫ったドキュメンタリー映画『道草』の上映会を定員300名規模で開催いたします。事業所の枠を越えて、互いに刺激し合い、高め合い、協力し合う事はとても大事な事だと思いますし、私自身、いつも刺激を頂いています。

ヘルパーの仕事は一対一。私も、一人で抱え込んでしまうと、時に孤独を感じたり、自分が何をしているか分からなくなったりすることがありますが、これは私だけではないと思いますし、共有する・どうするのが良いかをみんなで考える、そういう場や時間を作る事というのは、本当に大事な事と思っています。日々、限られた時間の中で、どうしても目先の事に追われがちですが、こういった横のつながりや、同じ想いを持つ仲間を増やしていく活動を大事にし、輪を拡げていけるよう、これからも自分にできることをしていきたいと思います。

西陣会居宅サービス係

シェアハウス小松原の家 5年目に向けてのスタート

サービス提供責任者　森　勇輝

２０１５年10月から開始したシェアハウス小松原の家もあっという間に4年がすぎました。4年の間で入居者の顔ぶれも変わり、昨年の8月からは新たなメンバーを迎えています。入居者それぞれが役割を担いながら一つ屋根の下での生活をされています。

２０１６年度からは入居者の皆さんも小松原北町南部町内会にも入り、地域の方とのつながが始まりました。毎年8月の地蔵盆、10月の学区体育祭にも参加させていただき、いっしょに競技にでたりする中でいい関係・交流ができています。とてもいい方たちばかりなので、入居者の皆さんも地域のイベントに参加するのを楽しみにされています。

沖縄旅行に行ったのもいい思い出です。初めての飛行機にとても緊張されていましたが、みんなといる安心感から頑張って乗ることができました。普段はできない色んな経験をすることで成長して帰ってこられたと思います。今でも時々「沖縄楽しかった」「また行きたい」と話してくださります。

シェアハウス小松原の家をここまで続けてこられたのも、入居者ご家族の皆様のお支えと、暖かい地域の方々、そしてなによりも入居者の皆様の頑張りがあってこそだと思います。本当にありがとうございます。

シェアハウスというものが1人暮らしやグループホーム以外の地域生活の形として、障がいのある方たちのこれからの選択肢の1つとして広がっていけばいいと思います。

ふらヴィジョン

フライデーナイトに込められた思い

西陣会ふらヴィジョン会長　隅水　滋

ふらヴィジョン発足から11年目に入ります。パワフルなお母様方の思いを受け止めていただき、次々と念願の住処を立ち上げていただきました。西陣会という団体のすごさを再認識し、そこで見守られていることに誇らしさを強く感じました。一方で急激な事業の拡大で勤務状態は極めて厳しいものになっていることが想像されます。そんな中にも関わらず、職員の皆さんは苦しさを一切顔に出されることなく子供たちの世話に当たっていただいています。しかし、いつかこの子供たちの希望の住処が職員さんから笑顔を奪ってしまうのではないか、そんな不安が会員の中で広がっていきました。職員さんは子供たちにとってとても大切な存在なのです。ふらヴィジョンとして何らかの支援をしていかなければと、何度も何度も話し合いました。当面の結論は、職員さんともっと接触しないとだめだということでした。以前から繰り返しお母様方から出されていた意見でした。ふらヴィジョンでは、年一回サタデーナイトきずなを開催してきましたが、徐々に職員さんの参加が少なくなってきていました。一度、曜日を変えてみてはという意見が出て、週末の金曜日に開催することにしました。第一回は8月9日のフライデーナイトでした。40名を超える方に参加していただき会場は大いに盛り上がり、笑顔であふれていました。やはり、職場には笑顔が大切だなあと強く感じました。このようなふれあいを通してふらヴィジョンとして何を行っていかなければならないかが発見できていければというのがフライデーナイトに込められた思いです。

フライデーナイトきずな

支援センター「きらリンク」

あいさつの魔法？

相談員　塩田　真里絵

私事ですが、先日機会があり初めてフランスに行きました。そこでの日本とは少し異なるあいさつ文化について、感じたことを書きたいと思います。

他者と会うときはまずは「ボンジュール」と挨拶をします。スーパーマーケットやホテルのフロント、カフェやレストランなど、どこでも使います。日本とは違い、客側から言うのが一般的のようです。

次に「メルシー（ありがとう）」です。会計のときや注文が来たときなど、何かしてもらったら些細なことでも使います。

この二つの挨拶は有名なフランス語ですが、想像していた以上にたくさん使いました。その二つだけで相手も笑顔で対応してくれるので、全くフランス語が話せないのにコミュニケーションが取れているような気になれるのです。昔のコマーシャルではないですが、まるで魔法の言葉です。それほど挨拶はフランスでは重要で、例えば職場では人数が多くても毎日一人一人と挨拶するそうです。

そこで自分自身、普段意識して挨拶をすることがあまりないことに気づきました。フランス方式は大げさかもしれませんが、果たして自分はどうだろう？　と考えた出来事でした。

きらリンクの業務では毎日多くの人とお話しします。また初めてきらリンクに来られる方は、緊張されていることも多いです。そんな時、まずは自分から明るく笑顔で挨拶することで、心を開いてお話ししてもらえれば良いなと思いました。旅先で感じた魔法に、また会えますように。

支援センター「にじじん」

『みんながおしえてくれました』

相談員　万代　由香利

あるきかたはねこがおしえてくれました
とびこえかたはいぬがおしえてくれました
かっこいいはしりかたはうまにおしえてもらいました
おにはみつからないかくれかたはうさぎがおしえてくれました

大好きな五味太郎さんの、『みんながおしえてくれました』という絵本の一部です。女の子がいろいろな虫や動物たちからたくさんのことを教えてもらう内容で、他にもにわとりやわにやゴリラ、ありやふくろうも出てきます。

この女の子のように我が子もいろいろな出会いを通して、たくさん教えてもらって学んで成長してほしいと願いながら、よく読み聞かせをしていましたが、果たしてどうでしょう？

教わること、学ぶことは、大人になってもいくつになってもたいせつなことですが、大人になるといろんな感情が邪魔して、子どもの頃のように素直に柔軟に受け止めることができないこともあるのではないでしょうか？　私の中にもあるように思います。

子どもの頃のようにはいかないと思いますが、いくつになっても成長できるよう、周りの方からたくさんのことを教わりたいと思います。そして、教わったことを私も誰かに教えてあげられるようになりたいです。

子ども達が大きくなって、絵本を読む機会が少なくなりましたが、なぜか急にこの絵本のことを思い出しました。久しぶりにゆっくり絵本を読みながら子どもの頃の気持ちを思い出したいと思います。

竹のお手入れをして……　→

流して……　→

食べまくる!!

路地裏ステーションニュース

西陣児童館

ちょっぴり大人

松井美穂

私の入職と同時に、学童クラブの登録枠が三年生から六年生までに広がった。高学年の登録数は年々増加し、現在登録人数85名中22名が高学年である。私が職員になり五年になるので、子どもたちの成長を身近で見届けてきたつもりである。

私は日々、どの子どもたちにも伝えていることがある。泣いている子や困っている子がいれば声をかけてほしいということ。特に上級生になっていく子どもたちには意識して、繰り返し伝えてきたつもりだ。現在では、何かあったら「大丈夫？」と声をかけてくれる高学年がたくさんいる。おかげで、その下の学年も大丈夫？　と声をかけてくれるようになってきた。

掃除の時間、重そうに机を持つ一年生に「手伝うわ」と言い手伝ってくれたり、泣いている子が泣きやむまでそばにいてくれたり、遊んでくれる子、優しく声をかけてくれる子もいる。低学年にとって高学年は身体も大きく少し怖い存在かもしれないが、いろんな関りを持ってくれる高学年がいるからこそ、低学年も楽しく過ごせていると思うと嬉しく感じる。優しくする高学年をみて優しくできる人になりたいと低学年が思ってくれ、同じようにやってくれたらいいなと願う。とはいえ、ただ自分が楽しかったらそれでいいという子ももちろんいる。いろんな子がいていい児童館は、やはり面白い場所である。

子どもたちは様々な学校から来ているので、学童クラブならではの仲間たちに会うために児童館に通う子もいる。さまざまなことを相談する仲間や共に行動する仲間を求めているようである。大人の庇護から離れて、より自立的になろうと成長する高学年たち。自分だけの時間も仲間との時間も大切に過ごせる環境を作り、身体的・心理的発達に配慮しながら支援していく必要がある。

身体も心も成長する高学年。ちょっぴり大人になっていく子どもたちと話すのは好きである。人には話しにくい悩みやなにかをしてみたいという欲求を言ってもらえるような信頼関係を築いていきたい。いろんな感情が入り乱れる子どもたちの気持ちに寄り添い受け止める。今の高学年も、今の低学年たちが高学年になっていく姿も、見届けていきたい。

京都市障害のある中高生のタイムケア事業「うぃず」

イケナイことは、した方がいい。

副所長　小西秀和

好きなひとにイタズラしたことのないひとは、読まない方がいい。

彼女には、大好きなひとがいる。そのひとには数回しか会ったことがない。好きになるのに、理由なんてない。

夏休み中、ずっと「会いたい」って言っていた。だから、手紙もなんかいも書いた。会えないと、もっと会いたくなる。たまに手紙の返事をもらうと、きもちがふくらむ。

夏休みさいごの日がやってきた。きょうは、みんなでバーベキュー。彼女が大好きなひとに会える日。いつもより1オクターブ高い声で、おしゃべりをたのしむ彼女。お肉の味も、五割り増し。天気もよくて、みんな笑顔で、絵に描いたようなしあわせって、こういうことなんだろう。

やんちゃな子どもたちは、お腹が満たされると、やることはひとつ。夏といえば、水あそび。水あそびと言えば、水鉄砲。あっという間に、男の子たちはびしょびしょに。見ている方のテンションもあがる。

そしてついに、彼女にも水鉄砲がまわってきた。最高のいちにちを過ごしてきた彼女には、水鉄砲なんて必要ないと思っていた。だけど、彼女は一瞬だけまじめな表情をみせて、さらにニッコリした。

日常生活で、だれかに水をかけるのはイケナイこと。だれかにイタズラをするのはいけないこと。だけど、きょうはぜんぶオッケーだった。やらなきゃいけない日だった。

夏休みさいごの日、大好きなあのひとが、目のまえにいてくれるんだから。

大好きなひとにねらいをさだめて♥

活動日誌

【本部業務・公益事業】

7月

- 5日　ステップアップ研修②委員会
- 8日　月曜集会
- 9日　ステップアップ研修①委員会
- 18日　レクリエーション委員会
- 20日　レクリエーション委員会企画「日本酒の会」
- 22日　キャリアパス&人材育成計画推進委員会
- 産業医面談日
- 安全衛生委員会

8月

- 1日　新任職員研修（尾上社労士）
- 5日　新任職員研修（武田理事）
- 7日　手をつなぐ育成会山科支部・山科区社協合同学習会での講演（浅田常務理事）
- 13日　新任職員研修（南大路理事長）
- 18日　新任職員研修（浅田常務理事）
- 24日　西亀屋町地蔵盆&足洗い（浅田・五十嵐）
- 25日　元四丁目地蔵盆&足洗い（中山）
- 26日　MYMバーベキュー&スイカ割り
- 28日　小松原北町南部地蔵盆（浅田・森）
- キャリアパス&人材育成計画推進委員会
- 月曜集会
- 産業医面談日
- 安全衛生委員会
- 宝塚市手をつなぐ育成会ネイバーフッド見学
- 31日　デイ建物耐震補強工事の工事業者入札

9月

- 5日　ステップアップ研修①委員会
- 8日　西陣マルシェ
- 9日　月曜集会
- キャリアパス&人材育成計画推進委員会
- 19日　ステップアップ研修②発表会
- 24日　めいぷるワイズメンズクラブ助成金贈呈式へ出席（宮﨑）
- 30日　月曜集会
- 産業医面談日
- 安全衛生委員会

【西陣児童館】

【クールキッズプログラム】

- 7月26日　映画会スペシャル
- 7月30日　かき氷大会　第一弾
- 8月3日　流しそうめん
- 8月20日　サマーモンキー音楽遊び
- 8月22日　かき氷大会　第二弾

7月

- 12日　学童クラブ夏の保護者説明会
- 25日　天神さんお出かけ

8月

- 5日　華頂短期大学実習生受け入れ
- 7日　防災センターお出かけ
- 9日　第1ブロックドッジ&ゲームフェスティバル
- 20日　科学センターお出かけ

9月

- 1日　学童クラブ保護者会夏のレクリエーション
- 25日　基幹ステーションイベント『はにーハミングのわくわくコンサート』
- 28日　基幹ステーションイベント『魔法の板カプラDE遊ぼう』

【居宅サービス係】

7月

- 10日・18日　強度行動障害支援者養成研修（鈴木）
- 12日・26日　サービス提供責任者会議
- 14日　居宅職員会議
- 上京区障害児者生活支援連絡会（近藤）
- 22日　居宅介護等事業連絡協議会（浅田・永瀬）

8月

- 3日・18日　集団活動企画「湖水浴」
- 9日・10日・11日　ガイドヘルパー養成講座
- 11日　居宅職員会議
- 16日・30日　サービス提供責任者会議

9月

- 1日　居宅職員会議
- 10日・27日　サービス提供責任者会議
- 17日　上京区障害児者生活支援連絡会（近藤）

【デイセンターふらっと】

7月

- 4日　OJT推進者研修（二名受講）
- 9日　新任職員研修（外部）（一名受講）
- 10日　強度行動障害支援者養成研修（全三日）（一名受講）
- 30日　全体行事：BBQ

8月

- 7日　相談支援従事者初任者研修6日間（一名受講）
- 23日　3日間（一名受講）海水浴in神崎海水浴場

9月

- 12日　歯科健診
- 16日　全体行事運動会

【きらリンク】

7月

- 5日　北部自立支援協議会運営会議
- 8日　十五支援センター連絡会議
- 12日　京都府障害者虐待防止・権利擁護研修
- 24日　基幹支援センター会議
- 25日　障害程度支援区分審査会
- 30日　北部自立支援協議会支援会議
- 31日　相談支援事業者座談会（北部自立支援協議会・基幹支援センター共催）

8月

- 1日　左京こころのふれあいネットワーク全体会議
- 16日　相談支援スキルアップ研修
- 19日　京都市社協日常生活自立支援事業審査会
- 28日　京都市実地指導

9月

- 4日　京都市障害者虐待対応に関する業務研修

【にしじん】

7月

- 5日（4日・10日）　北部自立支援協議会
- 12日　地域懇談会
- 14日　十五支援センター合同研修会
- 北部自立支援協議会支援センター部会
- 4日　中部自立支援協議会事務局会議
- 8日　支援センター会議
- 22～23日　相談支援専門員現任者研修講師派遣
- 24日　基幹支援センター会議

8月

- 15日　中部自立支援協議会運営会議
- 16日　相談支援専門員スキルアップ研修開催
- 20日　中部医療的ケア専門部会
- 22日　相談支援専門員カフェ
- 28日　京都市児童専門部会

9月

- 2～3日　相談支援専門員初任者研修講師派遣
- 4日　地域移行会議
- 6日　虐待防止研修参加
- 上京ねっと定例会
- 12日　虐待防止研修講師派遣
- 機能集約合議体

※毎月、施設長会議・主任会議を実施しています。その他、諸事業諸活動においても定例活動を行っております。

センター往来

◎7月30日(火)京都市子ども若者はぐくみ局の久保局長他3名の方々が児童館の見学に来られました。

◎8月5日(月)手をつなぐ育成会山科支部・山科区社会福祉協議会合同学習会で浅田常務理事が『「自分らしく暮らせる住まい方」を実現する挑戦』について講演をいたしました。

◎8月9日(金)ふらヴィジョンによる「フライデーナイトきずな」が開催され、美味しい楽しい親睦のときとなりました。

◎8月10日(土)紫野まつりにういずの藤賀と松本(優)がお手伝いに参加させていただきました。

◎8月18日(日)西亀屋町町内会の地蔵盆が西亀屋町のデイ分室で行われました。浅田常務理事とデイセンターふらっと五十嵐主任がお手伝いさせていただきました。夜の足洗いにも参加させていただきました。

◎8月24日(日)元四丁目町内会の地蔵盆が東館2階で行なわれました。夜は足洗いがあり西陣児童館中山館長が参加させていただきました。

◎8月25日(日)小松原北町南部町内会の地蔵盆に浅田常務理事、シェアハウス小松原の家担当の森が参加しお手伝いさせていただきました。

◎8月28日(水)宝塚市手をつなぐ育成会の方々が来所されネイバーフッドきたまち・西陣会ホームきたまちを見学されました。

◎8月31日(土)デイセンターふらっと建物の耐震補強工事のため工事業者入札が行われました。

◎9月7日(土)・8日(日)嘉楽消防団の名古屋・岐阜長良川への研修旅行に浅田常務理事が参加させていただきました。親睦を深め、地域の防火防災活動への励みとなりました。

◎9月8日(日)「西陣の朝市マルシェ」に出店させていただきました。

◎9月20日(金)シェアハウス小松原の家が「障害福祉を動画で解説するサイト」の撮影・取材を受けました。

◎7月6日(土)・7日(日)に、地活ふらっと30周年記念旅行第2弾「アクティブ旅行」を開催しました。信楽焼狸の絵付け体験、伊勢神宮参拝、鈴鹿サーキットを満喫しました。

◎9月7日(土)・8日(日)の第3弾「ゆったり体験旅行」では、雲ひとつない青空の下、ブドウ狩り、乗馬体験、鳥取砂丘でのラクダ乗りを楽しみました。

10月～年末にかけて、デイセンターふらっとの耐震補強工事を行います。工事期間中ご不便をおかけしますが、ご了承ください。

職員人事（常勤職員）

入職

デイセンターふらっと
田端惠美子(7月1日～)

居宅サービス係
椙下　賀代(10月1日～)

退職

居宅サービス係
岡野　花菜(7月29日付)

たぬきと♪

プリンセスは乗馬 (^ ^)

マスカット王子♥

住所変更のある方、当機関誌のご不要な方はFAXにて（075）451－5700迄ご連絡下さい。

社会福祉法人 西陣会

- 法人本部
- 京都市民福祉センター
- 地域活動支援センター ふらっと
- 地域生活支援事業 レスパイトサービス
  TEL（〇七五）四五一－八九七一
  FAX（〇七五）四五一－五七〇〇
- 西陣児童館
- 京都市障害のある中高生のタイムケア事業 ういず
  TEL（〇七五）四五一－八九七二
  FAX（〇七五）四五一－五七〇〇
- 西陣会居宅サービス係
- 相談支援事業所 きずな
  TEL（〇七五）四一七－三四一〇
  FAX（〇七五）四四一－五二九一
- デイセンターふらっと
  TEL（〇七五）四一七－三四一一
  FAX（〇七五）四四一－五二九一
- 西陣会ホーム となり
- ショートステイ ゆう
  TEL（〇七五）四六八－三〇六八
  FAX（〇七五）四四一－五二九一
- 西陣会ホーム きたまち
  TEL（〇七五）四六一－三三五五
  FAX（〇七五）四六一－三三五六
- 京都市中部障害者地域生活支援センター にしじん
  TEL（〇七五）四一七－一六三〇
  FAX（〇七五）四五一－三六一九
- 京都市北部障害者地域生活支援センター きらリンク
  TEL（〇七五）七五二－〇一〇六
  FAX（〇七五）七五二－〇一〇七